

県内の遺跡・遺物 19

はもちじょう 羽茂城跡

所在地：佐渡郡羽茂町大字羽茂本郷字上ノ平

県指定：昭和30年2月9日

羽茂城跡は佐渡郡南西部、羽茂町の市街地南部の丘陵上に所在します。戦国期の山城の形態を今によく伝えており、また山麓の平地には平時の居館であったと考えられる平城跡ひらじろも存在します。鎌倉時代初期、佐渡国には守護となった北条氏の家臣である本間氏が代官として入ってきました。羽茂城は本間氏の庶家の一つである羽茂本間氏の居城で、応永年間に築城されたと考えられています。遺跡は山頂に「殿屋敷」・「元屋敷」と呼ばれる主郭、その西側に「五社城」、東側に「荒神城」という見張り台があり、主郭の東側には沢を挟んで馬場跡が残っています。昭和53年に町道改良工事に伴い、主郭と空堀で隔てた「北の城」と、その腰郭部分の発掘調査が行われ、中国明代の青磁などが出土したほか、城内鍛冶遺構や掘立式切妻造りの上床式の建物跡が発見されています。羽茂本間氏は16世紀半ばには河原田本間氏と並び佐渡島内の広範囲に勢力を振るいました。羽茂城は天正17(1589)年上杉氏の佐渡征伐によって落城し、同時に羽茂本間氏も滅亡してその歴史に幕を下ろしたのです。



参考文献 山本仁, 計良勝範 1988 (羽茂本間氏)「古代から中世へ」
羽茂町誌第二巻『古代中世の羽茂』通史編 羽茂町

あしがき

長かった現場での調査もようやく終了しました。今年の夏は冷夏という予想に反して気温も高く、また雨のため調査もなかなか思うようには行かない日が例年に比べ多かったような気がします。中には事務所が浸水しそうな現場もあったとか。心機一転、寒い冬を乗り切りましょう。(Y)

埋文にいがた No.21

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956 新津市金津93番地1
TEL (0250)25-3981
FAX (0250)25-3986
印刷 有限会社 双葉印刷